

令和元年 12 月 13 日

国土交通省鉄道局と流域 8 市 2 町の各首長との面談

(くらし・環境部環境局)

1 概要

国土交通省鉄道局江口技術審議官（鉄道）が、大井川利水関係協議会の流域 8 市 2 町の声を把握するため、各首長を訪問し面談を行った。

2 面談日程について

- 11 月 6 日（水）島田市長、掛川市長、藤枝市長、焼津市長
- 11 月 13 日（水）川根本町長、菊川市長
- 11 月 15 日（金）吉田町長、御前崎市長、牧之原市長
- 11 月 22 日（金）袋井市長

3 各首長からの主な意見について（報道により県で作成）

- 大井川の表流水・地下水・伏流水により、地域の産業が成立しており、水量の減少は死活問題となる。
- 長年にわたる地下水の影響が明確に示されていない。地下水が枯れた時に立証責任を果たせず、泣き寝入りする懸念があり、住民の不安は大変大きい。
- 水がなくなった場合に地元側が立証責任を負う形では困る。検証のルールを基本協定の中でしっかり位置付けてほしい。
- エコパークに登録されている南アルプスに配慮した「水質」・「自然環境」の保全が必要である。
- 国が公平公正な立場で、最新の知見で、JR や県が言っていることを検証してほしい。
- 新たな協議体制には、国交省だけでなく、環境省や農林水産省等の関係省庁の参加が必要である。 等

4 JR 東海と各首長との面談について

- JR 東海から各首長との個別面談の依頼があったが、調整及び交渉の窓口を県に一本化していることから、各首長は JR 東海との面談を断った。